



一般社団法人 山形森林調査協会

“美しい森林の風景を守るために”
森林経営管理をサポートします。

これからの森林活用 森林経営管理制度

制度の目指す姿



広がる木材の利用＝炭素の固定



間伐が行われないと…

- 土壌が失われ 土砂崩れの原因になる
- CO2吸収量が低下する
- 病害虫が発生しやすい



一般社団法人 山形森林調査協会

〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字長面153番地の1

TEL.0237-85-8233 FAX.0237-85-8233

E-mail:yfi@kfa.biglobe.ne.jp

森林経営管理制度の流れ



① 事前準備

区域内の森林の状況を把握するため、都道府県が備える森林簿や森林計画図、林地台帳などの情報を集め、森林情報をもとに対象森林を抽出し、意向調査対象地区の選定を行います。

- * 資料収集(森林簿、林地台帳、森林GIS)
- * 森林法における各種指定状況調査
- * 森林情報図作成
- * 対象森林の抽出
- * 意向調査対象地区選定

■ 森林情報図の例 / 航空写真や航空レーザーデータを用いて、森林の状況を把握できる主題図を作成します。

課題	施業履歴を知りたい	路網を知りたい	樹高を知りたい	樹種を知りたい	本数や密度を知りたい	材積を知りたい
主題図	過去の航空写真	陰陽図	樹高区分図	林相区分図	単木抽出 平面 断面	毎木の材積算出
元資料	1960~1970年代(約50年前)の航空写真	既存LPデータ(点密度1点/m)	既存LPデータ(点密度1点/m)	高精度LPデータ(点密度4点/m)又は航空写真	高精度LPデータ(点密度4点/m)	高精度LPデータ(点密度4点/m)

② 森林現況調査

後続作業の意向調査や経営管理権集積計画作成の際、森林所有者毎の正確な面積や現況の樹種、林齢、材積量等の情報が必要になります。その為に、境界の明確化を実施し、測量から得た面積を算出したり、また、最新技術を用いた資源量調査等をおこないます。

- * 境界の明確化
- * 資源量調査(航空レーザー測量、UAVレーザー測量、UAV写真測量、地上レーザー測量)

■ 森林境界実測図

■ 三次元データと公図の重ね合わせ

■ 立木本数や材積の算出

④ 経営管理権集積計画作成

市町村が経営管理権集積計画を定めると判断した森林について、経営管理権集積計画を作成します。集積計画は、森林所有者や関係権利者から同意を得る必要があるため、森林所有者と協議した上で計画案を作成し、森林所有者や関係権利者から同意をえることになります。

■ 経営管理権集積計画

- * 経営管理権集積計画に対する同意の取得、取りまとめ
- * 経営管理権集積計画の公告
- * 経営管理権の取得(市町村)、経営管理受益権の取得(所有者)

■ その他

- * 市町村の森林・林業行政の体制支援
- * 路網整備の助言・指導
- * 森林GIS等、システム整備
- * 森林サイクルのマネジメント(サプライチェーンマネジメント)

川上~川下まで、きめ細かな支援を致します。

③ 意向調査

効率的に作業を進めるため、管内の森林を一定の区域(エリア)に分け、優先順位をつけます。必要に応じて説明会等を開催し、地域住民の意見も踏まえながら、区域決定を行います。意向調査票を対象区域の森林所有者に配布・郵送し、その回答を取りまとめます。

■ 意向調査票

■ 説明会

- * 対象地区の中から優先順位を計画
- * 説明会を実施
- * 意向調査票の配布・郵送
- * 意向調査票の回収、取りまとめ